

会津コシ 特A 復活!! 両沼地方稲作情報

発行：JA 会津みどり営農部・各総合支店

第2号 平成25年5月〇〇日

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所（電話0242-83-2112）

//

金山普及所（電話0241-54-2801）

1 田植え後の水管理

移植直後は植え痛みを少なくするため、苗が水没しない程度に深水にし、活着したら3cm程度の浅水にして地温の上昇をはかるのが基本です。ただし、低温が続く時や冷たい風が吹く場合は深水にして保温しましょう。なお、水管理の効果は以下の通りです。

表1 水管理の種類と生育や生育環境に対する効果

	水深	保温効果	分けつ促進	養分吸収	酸素の供給	抑草効果
浅水管理	2～3cm	中	大	大	無～小	中
深水管理	10cm程度	大	無～小	中	小	大
間断かん水	0～2cm	小	中	中	中	無
落水・中干し	0	無～小	無～小	無～小	大	無

出典：福島県稲作指導指針（総合版） H4年3月一部改変

なお、春に稲わらをすき込んだ水田や排水不良田では、気温の上昇とともに、稲わら等の有機物の分解が始まり土壌の還元化が進む時期でもあるので、温暖な日を選んで間断かん水を行い、土中に酸素を供給して根を健全に保つように努めましょう。田んぼに「足」を入れて、ブクブクと泡が出てくるときは、要注意です。

2 除草剤の使用について

(1) 初中期一発剤の使用について

除草剤の使用時期は、田植えからの日数やノビエの葉齢によって決まります。なお、剤型の特徴は次のとおりです。

剤型	利点	注意点
1キロ粒剤	水持ちの悪いほ場でも効果が高い。風があっても比較的散布ムラのない効果が期待できる。	散布量が少ないため、まきすぎに注意する。散布器具が必要。
豆つぶ剤	散布器具が必要なく施用が簡単。風があっても比較的散布ムラのない効果が期待できる。	散布量が少ないため、まきすぎに注意する。
フロアブル剤	散布器具が必要なく施用が簡単。手振りのほか水口施用ができる。	水面全体に行き渡る必要があるため、代かき・均平を丁寧に行う。風のない日に散布する。
ジャンボ剤	散布器具が必要なく施用が簡単。気象状況にかかわらず施用できる。	処理時は5～6cm以上のやや深水にする。水持ちの悪いほ場では施用しない。藻類や表層剥離のないほ場で施用する。

※河川等への流出による悪影響を防ぐため、散布後7日間は落水や掛け流しをしない。

(2) 追加除草について

状況	剤名	使用量(/10a) 〔希釈水量〕	使用時期	使用方法
ノビエのみ残草している場合	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5 kg	移植後 25日～ノビエ5葉期まで (但し、収穫30日前まで)	湛水散布
		1 kg	移植後 7日～ノビエ4葉期まで (但し、収穫30日前まで)	
	ヒエクリーン 1キロ粒剤	1 kg	移植後 15日～ノビエ4葉期まで (但し、収穫45日前まで)	
広葉雑草が残草している場合	バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	500～700mL 〔70～100L〕	移植後 15～50日 (収穫50日前まで)	落水散布またはごく浅く湛水して散布
	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	3～4 kg	移植後 15～50日 (収穫60日前まで)	
クサネムが残草している場合	ノミニー液剤	50～100mL 〔100L〕	移植後 30日～クサネムの草丈 40cm 又はイボクサの茎長 30cm まで (収穫60日前まで)	
様々な草種が残草している場合	クリンチャー バス ME 液剤	1,000mL 〔70～100L〕	移植後 15日～ノビエ5葉期 (収穫50日前まで)	
	ヒエクリーン バサグラン粒剤	3 kg	移植後 15日～ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	
藻類・表層剥離が発生した場合	モゲトン粒剤	1～2 kg	藻類・表層剥離の発生時 (収穫45日前まで)	湛水散布

(3) 難防除雑草について

草種	生態、対策	草種	生態、対策
オモダカ 	<p>多年生の難防除雑草で矢尻のような葉が特徴である。</p> <p>種子のほか塊茎（芋のようなもの）でも繁殖する。塊茎は5～25cmの土中から出芽し、発生時期が不斉一で長期間にわたるため、防除を困難にしている。</p> <p>塊茎の寿命は約1年とされているため、発生したらその年は徹底的に防除する。</p>	クログワイ 	<p>塊茎で繁殖する。塊茎は休眠覚醒に著しい遅速が見られ、水田雑草の中では発生が遅く、不斉一である。見た目はホタルイと似ているが、茎を指でつまむとパリパリと音がする方がクログワイである。</p> <p>塊茎は水田土中で5～7年生存できるため、発生初期と生育中期の茎葉処理剤を組み合わせ、かつ数年間連用する。</p>
ホタルイ 	<p>主に種子により発生する。湛水条件下では地表1～2cmから出芽するが、それ以上のこともある。土中の種子の寿命は長く、10～20年に達するとみられている。</p> <p>また、生育するにしたがって除草剤への抵抗力が増加するため、数年間にわたって発生初期に防除していくことが重要である。</p>	クサネム 	<p>マメ科の1年生雑草。発芽が極めて不斉一で、土中での寿命も長く、防除が困難である。</p> <p>また、種子の大きさが玄米より大きく、比重が同じであるため、米に混入することで品質を落とすことが問題となっている。玄米の篩目である粒厚1.9mm以上の種子が多いのは6月下旬出芽までであり、この時期までの防除が重要である。</p>

御不明な点がございましたら、**最寄りのJA総合支店**までお問い合わせください。